

子どもと絵本の出会い

子どもは、お父さんやお母さんや家族のこちよいことばのひびきを覚えています。



おなかの中でも
聞いています



語りかけられたことを
覚えています



うたを聞いて
安心します

だんだん五感がめばえてきます。

じいっと見たり



一生けんめい聞いたり

においをかいだり



さわってみたり



味わったり

さわってみたり



わくわくドキドキするものと
たくさん出会います。



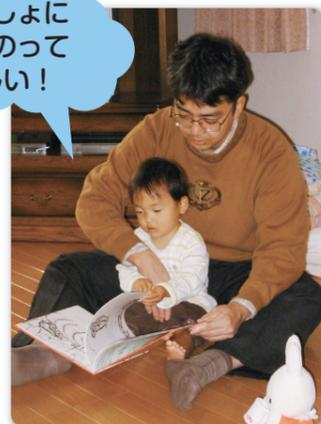
子どもにとって、
生まれてはじめての絵本は
おもちゃのような存在です。
読んでもらって、はじめて絵本の世界と出会います。



ブックスタートで (7ページ参照)



図書館で



家庭で

いっしょに
見るのって
楽しい!

さまざまなことやものに興味・関心を持ち、自我がめばえはじめる時期です。
自分で絵本を選んだり、
手にしたりすることも出てきます。



お気に入りの絵本、
何度読んでもらっても
おもしろい!



お母さん、
これ読んで



いっしょに読むのも
楽しいね

絵本の登場人物になりきって、
想像の世界でさまざまな体験をするようになります。
うれしくなったり、くやしくなったり、
悲しくなったりすることも……。

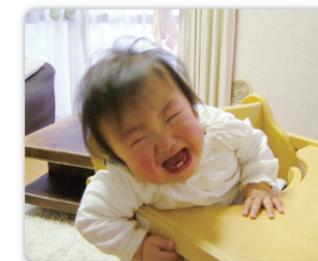


ハッピーバースデー!
絵本をプレゼント!!



お気に入りの絵本や場面もできて、
だんだん個性がはっきりしてきます。
子どもの興味・関心を
引き出す機会をつくりましょう。

こんなとき、
どうしたらよいの?
あなたなら、どうしますか。
次からのページに
ヒントがあります。
読んでみてください。



子どもが泣きやまない、
どうしよう……



どんな絵本が
よいかわからない……

おはなしを聞いているうちに
絵本の世界の中へ



幼稚園・保育園などの施設でも
絵本に出会うことができます

